

海外の日本語教師 中国



衆議院議員秘書、お笑い芸人、
異色のキャリアを持つ
熱血教師は中国全土を駆け巡る



笈川 幸司（おいかわ こうじ）さん

埼玉県出身。日本大学文理学部教育学科卒。ポーランドに半年間遊学後、さらに中国に一年半の語学留学。日本に戻り衆議院議員の公設秘書、お笑い芸人を経て、2001年7月に再び中国へ。北京の語学学校講師を皮切りに、精華大学、北京大学でも教壇に立つ。2011年9月から日本大使館後援『日本語講演マラソン』スタートし、中国全土、540の大学を回り、11万人の学生に日本語学習法などについて指導する。

知識も経験もないまま 日本語教師に

笈川さんが再び中国の地を踏むのは二〇一一年七月。今度は中国語の通訳になると、その準備の傍ら非常勤で働ける仕事を探している際に、日本語教師という仕事を知った。そして日本語教育の経験も知識もないまま、北京の日本語学校の面接を受け採用されてしまう。その後も中国の名門、精華大学や北京大学で教えることになるが、お笑い芸人時代に身に付けたユーモアやプレゼン能力とともに、笈川さん自信の人間的な魅力が「この人と一緒に働いてみた

教え子たちをスピーチ大会で次々と優勝させ、その指導力に注目が集まる笈川幸司さん。その経歴はかなり異色だ。大学卒業後、親の薦めで中国・北京へ語学留学。しかし、学校にはほとんど行かず、中国人の知り合いや食堂のおばさんをつかまえては、中国語で今日の出来事を話したそう。いわば街角の実践練習で中国語を習得した笈川さんいわく「語学学習は、伝えたいことがあるかどうか重要」だとのこと。帰国後は知人の紹介で衆議院議員の秘書に。しかし、子供の頃から抱いていたお笑い芸人の夢を捨てきれ

い」と周囲の人に思わせるのだろう。

精華大学に移ってからスピーチの指導を始めるようになった笈川さんは、数々のスピーチ大会で教えた子たちを優勝させている。コッは「とにかく心をこめて、本当のことを話させること」。スピーチ原稿を書かせ、その内容の一つ一つを追求し、書き直させる。その作業を根気よく繰り返し、返すことによって、上っ面だけの内容から、学生の剥き出しの気持ちが現れてくるのだそう。

海外での経験が 人間としての幅を広げる

「日本語教師を目指すなら、一度は海外生活を体験してほしい」と笈川さん。異文化の中に身を置き、習慣や価値観の違いに悩み、苦しむ、そんな経験をした人であれば、教師としてはもちろん、人間としての幅も出てくるのだと言う。「例えば、日本国内の学校で、急に成績が下がった学生がいた場合、海外経験がある教師であれば、『あの学生は最近や

る気がない』といった表面的な判断はせず、『日本の生活にうまく適応できていないのだろうか』などのように学生の立場に立って考えられるようになると思うんです」。

笈川さんは現在、中国45都市を巡る『日本語講演マラソン』に取り組んでいる。各地の大学生を相手に、効率よく日本語を学習する方法を教えるとともに、日本を好きになってもらうことが目的だ。「自分がいくら頑張っても、一つの学校の教師であるかぎり、限界があるんで

す。教師になった一〇年前から、いつか中国全土を教えて回りたいと漠然と考えていたんです。そんな思いを実現中の笈川さんは、既に次のことを考えている。

「次の目標は中高生の日本語学習者を増やすことです。中国の中等教育機関の日本語学習者数は約6万人。韓国などに比べたらまだまだ少ない。日本に興味を持ってくれる人をもっともっと増やしたいですね」。笈川さんの活躍はまだまだ続きそう。



① 2011年10月19日。長春理工大学での講演風景。この日は長春師範大学でも講演を行った。② 笈川さんが運営に携わっている中国人日本語学習者のためのコミュニケーションサイト「ジャスロン」(ジャパニーズ・スタディ・サロン)。http://neo-acg.org/supsite/ ③ ライトアップされた天安門。夜でも多くの人が訪れる

●中国の日本語教育

- ・機関数：1,708 機関
- ・教師数：15,613 人
- ・学習者数：827,171 人

(国際交流基金『海外の日本語教育の現状 日本語教育機関調査・2009年』より)

●日本にいる中国人

687,156 人(法務省 2010 年統計「外国人登録者数」より)

●『日本語講演マラソン』

ホームページ

http://www.oikawa.pro/jp/
講演の様子やスケジュールなどを公開。また、笈川さんが日本語学習法についてアドバイスするメールマガジン「笈川通信」(無料)も登録できる。